



・税理士
・税理士法人
タックスサポート・イトカズ
那覇事務所所長

糸数弘和
(いとかずひろかず)

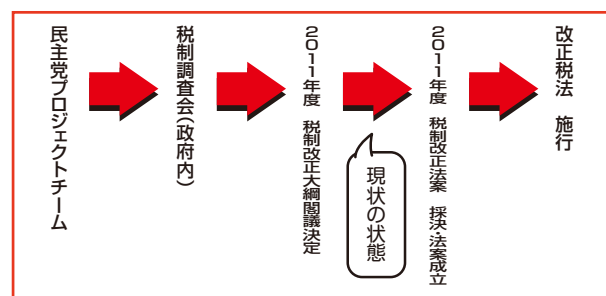
税制改正に対する注意と対策

3月に東日本大震災が発生してからもう3か月。2011年度の税制改正は未だ法案のまです。このような時、起こると恐いこととその対策について考えてみたいと思います。

2011年6月3日現在、2011年度税制改正は法案のまま国会で審議されています。毎日のニュースで皆様もご存じの通り、東日本大震災の復興に向けた諸施策やその財源となる補正予算、そして原発事故への対応が優先されています。では税法はどうなるのか？国会で税制改正での進め方を確認すると共に、今後もし税制改正法案が国会で可決した場合注意すべきポイントについて、考えてみたいと思います。

①税制改正の流れと現状

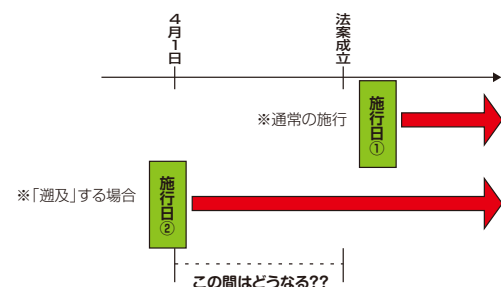
現在の税制改正の流れは、最初に政権与党である民主党の中のプロジェクトチームにおいて議論され、そこで検討されたものが政府の中に設置される税制調査会で税制改正大綱としてまとめられます。以前は自民党の中の税制調査会と政府で設置される税制調査会が別個で存在し、前者は政治家中心、後者は学識者中心に構成されてそれぞれが答申をしていましたが、現在は政治家により構成されて運営されています。税制改正との関連でスケジュールは以下の図の通りです。



通常の日程であれば、閣議決定が年末(11月から12月の間)に行われ、通常国会の中で法案が可決(2月から3月の間)を経て成立し、4月1日に施行されてきました。何故これだけスケジュールが遅れているか…。それは報道にお任せして、例年にない状況であることは理解して頂けるとと思います。では皆様への影響について次で解説していきましょう。

②これから先に税制改正が行われたら??

今後税制改正が成立した場合、最もこわいのはいつから適用されるかです。前々回の相続税、前回の消費税をはじめとする改正は、極端に言えば日付次第で運命を変えられてしまう人が出るかもしれません。このことを図式化してみると次のようになります。



法案が成立して、「これから改正する内容を適用しますよ」であれば問題はないでしょう。ところが「4月1日から適用します」となったら、既に過ぎ去った過去についても新しい税法で考えなければなりません。最近税理士の業界でのニュースはこうしたことが起こったらどうなるかが多く取上げられています。相続税なら4月1日に以降に亡くなった遺族の人への課税の有無は新旧どちらが適用されるか、基礎控除の面で替わりますし(旧法なら5千万円。新法なら3千万円)、消費税なら半年で1千万円前後の売上がある会社の来年度の課税の有無(消費税法改正による課税事業者の変更)は会社の経営に大きな影響が出ることになります。

③対策をどのようにとるか

まずはきちんとした情報を集め、改めて税制改正が経営にどのような影響が出るかを見定めることです。改正を前提に物事を進めることと同時に、改正予定の税に関することで、急ぐ必要がないのであれば来年へ繰り越すことも検討しても良いでしょう。いずれにせよ早々に結論が出て欲しいものです。

閑談中国

Vol.9

中国の麻雀について

今回は日本でもお馴染みであり、中国では古くから行われている麻雀について少し紹介してみたいと思います。



崔 月(さいつき)

●麻雀の歴史

麻雀は、4人のプレイヤーがテーブルを囲み136枚の牌を引いて、役を揃えて、得点を重ねて勝敗を決めるゲームだ。

麻雀の起源には、いくつかの説があるが、最も有力なのは清の同治年間(1862~74年)に寧波の陳魚門という人物が、明の時代からあった「馬吊」と「骨牌」というゲームを合体させて完成させたという説だ。その当時は多くの金持ちや貴族たちの間での遊びであったようだ。

その後、1949年に中華人民共和国政府により全てのギャンブルが禁止された。しかし、麻雀はギャンブルではないということで1985年に禁止がとかれ、大衆の間で広く楽しめるゲームとなった。

麻雀で一番重要なのは座る位置。勝敗に影響があるといわれていて、気にする人は多い。決め方は、サイコロと東、南、西、北、四つの牌を裏返しにし、サイコロをふって目の多い人から牌を取り、その牌に書かれた席に座る。

座る位置が決まると、東のプレイヤーが自動的に親となる。親がサイコロを使って配牌時に取り始める山を決め、サイコロは親を表わす目印として、親の席の右隅に置かれる。

私は小さい頃から、周りの人たちと一緒に麻雀をすることが唯一の暇潰しだった。そのため今でも麻雀をするのが大好きだ。

年配の方は夏の天気の良い日に公園ですることもあるが、麻雀をする場所は個人の家が多い。場所を提供する家主は、飲み物や果物などを用意するのが基本。お客に何にも出さない家は嫌われるのだ。ただし、お客はお客で、ゲームが終わると、その日に勝った人が気持ち分のお金を置いて帰るのが礼儀となっている。

していく。一語学講師としての責任の重大さを実感できた。

●麻雀は仕事でも抜けられない

毎回終了時に現金精算するのが基本で、ゲームをする前の両替は「お金を崩す」ということで負けを意味するため、小銭を事前に用意するのは当たり前のことになっている。

また、始める前に1束(1荘4回)を何回するかを決め、終了するまでメンバーの交代は認められない。ときに家主側が交代することはあっても客が途中で抜けることはない。大体一回は4、5時間で終了する。

ゲームとはいっても金銭がかかっているのでプレイ中のマナーはもちろん厳しい。不用意に手を頭の後ろに持っていけば、「そのまま静止」を命じられて、手の中に何も無いかどうか調べられる。捨て牌も出した牌を全員が確認してから捨てられる。

麻雀をしていて一番嫌われるのは途中で抜けることだ。例えば仕事が急に入ったとしても自分の代わりの人が来るまで退席はできない。日本なら「仕事だから」などの理由で途中退席が認められるが、中国では逆に麻雀をしていて仕事に遅れることがある。といったら、日本の方からは、とても信じられないかもしれない。

中国人は麻雀が大好きで、コミュニケーションのツールのひとつとして、様々な場で行われている。

例えば、商売をしている人は麻雀をしながら商品を売ったり、契約したりすることも少なくない。また、久しぶりに会った仲間同士がご飯の後に麻雀をしながら最近の出来事などについて話し合うのも一般的だ。

その原型を辿ると1000年以上もの歴史があるといわれ、生活の中に深く入り込んでいる麻雀は、これからも中国の人々に愛され続けるだろう。